

ま え が き

教員の大量退職・大量採用に伴い、経験豊かな教員の優れた授業方法の継承について真剣に考えるべき時期となっております。

本県の道徳教育を推進していくためには、経験の浅い教員に向けて道徳授業の指導方法を分かりやすく示し、指導力の向上を図ることが必要であると考えます。

そこで、平成26年度においては、昨年度に引き続き道徳授業「匠の技」伝承事業を実施し、新たに中学校版の道徳の授業の「匠の技」を収録したDVDと、DVDを補完する形の指導資料集を作成して、県内公立小中高等学校に配布することといたしました。

このDVDには、創意工夫を凝らした道徳の授業の様子が収められています。

また、指導資料集には、「道徳の時間の目標」はもとより、「発問の工夫」や「話し合いの工夫」など、道徳の時間に生かす指導方法の工夫を取り上げ、特に若手の教員を対象にして、出来るだけ、簡潔に、具体的な表現で著しました。

是非、これらの教師用教材を校内研修等において活用していただき、指導力の向上を図っていただきたいと思います。

平成26年10月21日には、道徳に係る教育課程の改善等についての中央教育審議会答申が出され、現在、道徳教育の更なる充実に向けた取組がなされているところです。

この指導資料集を出発点にし、子供たちが命の尊さを知り、自己肯定感を高めるとともに、子供たちが他者への思いやり、規範意識、自主性や責任感などの人間性・社会性を育むことを、また、道徳教育がより一層充実することを祈念しております。

結びに、本指導資料集の作成に当たり御尽力いただきました関係の皆様にご心から御礼申し上げます。

埼玉県教育委員会教育長

関根 郁夫